TR-IMU1647X ソフトウェア開発マニュアル

2版:2023年05月08日

2023/05/08

ソフトウェア開発マニュアル 株式会社テクノロード



モード選択スイッチ



※表にない組み合わせは未実装です。

ソフトウェア開発マニュアル 株式会社テクノロード

STM32CubeIDEのインストール

以下ページよりダウンロードしてください。 設定は不要なのでできるようにインストールしてください。 <u>https://www.st.com/ja/development-tools/stm32cubeide.html</u> STM32CubeIDEでプロジェクトの登録

STM32CubeIDE上で操作する前にワークスペースにプロジェクトを入れる必要があります。 1. Eclipseのワークスペースにダウンロードしたプロジェクトファイルを入れる。

①ディレクトリを参照する

2. ファイル->インポートを選択

workspace_1.10.1 - STM32CubeIDE				
	ファイ	ル(F) 編集(E) ソース(S)	リファクタリング(T) ナビゲート(
		新規(N)	Alt+Shift+N >	
		ファイルを開く(.)		
	₽	ファイル・システムからプロジェクト	を開く	
		最近使ったファイル(F)		
	周			
	8			
	1			
	81	リフレッシュ(F)	F5	
		行区切り文字の変換(V)		
	.в.		C+rl+D	
	2	インポート(I)		
-	<u> </u>			
		プロパティー(R)	Alt+Enter	
		再開		
		終了(X)		

3. 一般->フォルダーまたはアーカイブからプロジェクトを選択

IDE インポート	
選択 プロジェクトを検索するフォルダーまたはアーカイブ・ファイルの内容を解析し、IDE ヘインポートします。	
インボート・ウィザードの選択(S):	② 選
 一般 Import ac6 System Workbench for STM32 Project Import an Existing STM32CubeMX Configuration File (.ioc) Import Atollic TrueSTUDIO Project Import STM32Cube Example アーカイブ・ファイル 	
→ ファルル システム → フォルダーまたはアーカイブからプロジェクト ● 即方 プロジェクトナロ・トコッジ・フット	
	③完了



USB通信のみでプログラムを書き込む方法

開発環境が無い場合はUSBによる書き込みも可能です。 DFU書き込みを行う場合は以下URLからSTM32CubeProgをDLしてください。 <u>https://www.st.com/ja/development-tools/stm32cubeprog.html</u>

また、ファームウェアのHEXファイルを用意する必要があります。

DFUの書き込み手順

- 1. IMU基板の電源を切る。
- 2. DFU選択スイッチを上に傾けてONにする。
- 3. IMU基板の電源を入れる。
- 4. STM32CubeProgを起動した後にConnectボタンを押して、マイコンと接続できれば青いログが流れ出す。
- 5. 画面上部の"Open file" タブをクリックしてファームウェアを選びDownloadボタンを押す。
- 6. 完了されれば"File download complete"とポップアップが表示される。
- 7. DFU選択スイッチを下に傾けてOFFにする。
- 8. 電源を入れ直すか、マイコンリセットボタンを押すと書き込んだファームウェアが動き出す。

STM32CubeProgの画面説明は次のページに表記しています。



SWDによるプログラムの書き込み方法

MIPI-10デバッグコネクタを使用することでプログラムの書き込みとデバッグが可能です。 公開しているプロジェクトの開発環境であるSTM32CubeIDEではSTLINK-V3SETとST-LINK/V2が対応しています。 STLINK-V3SETはMIPI-10コネクタケーブルが付属しているのでそれで接続できます。

ST-LINK/V2の場合、JTAGをMIPI-10に変換するコネクタが必要です。 以下URLの変換コネクタは動作確認してあります。 https://www.digikey.co.uk/product-detail/en/olimex-ltd/ARM-JTAG-20-10/1188-1016-ND/3471401

MIPI-10デバッグコネクタ





STLINK-V3SET(MIPI-10ケーブル付属)



ST-LINK/V2と変換コネクタ(非公式)

ソフトウェア開発マニュアル 株式会社テクノロード

STM32CubeProgの画面説明



2023/05/08